



おかやま教育の日協賛事業
おかやま県民俗文化祭参加事業



2022 秋 おかやま
民俗芸能
フェスティバル

令和4年度 岡山県民俗芸能大会



令和4年 **11月6日** [日]

13:00~(開場 12:30)
久米南町文化センター
(久米郡久米南町下弓削515-1)

**入場
無料**

演目等

- 宮内踊(岡山市)
- 多自枯鴨神社の棒遣い(建部祭り)(岡山市)
- 横仙歌舞伎(奈義町)
- パンパ踊(久米南町)

解説:くらしき作陽大学 田中英機氏

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、内容変更、中止となる場合があります。

主催 岡山県民俗芸能大会実行委員会
共催 岡山県教育委員会、久米南町教育委員会、岡山県文化財保護協会
後援 岡山市教育委員会、奈義町教育委員会、(公社)岡山県文化連盟、(公財)岡山県郷土文化財団、山陽新聞社、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、OHK岡山放送、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち
助成 (一財)岡山県教育職員互助組合、(公財)日本教育公務員弘済会岡山支部

2022 秋 おかやま
民俗芸能
フェスティバル
令和4年度 岡山県民俗芸能大会

問合せ先

岡山県教育庁文化財課内 岡山県民俗芸能大会実行委員会事務局
〒703-8293 岡山市中区小橋町1-1-25 TEL:086-226-7601 FAX:086-224-5591
E-mail: bunka@pref.okayama.lg.jp

問合せ先

〒703-8293 岡山市中区小橋町1-1-25

岡山県教育庁文化財課内 岡山県民俗芸能大会実行委員会事務局

TEL:086-226-7601 FAX:086-224-5591

E-mail: bunka@pref.okayama.lg.jp

演目・出演団体紹介

みやうち おどり **宮内踊**

みやうちおど
宮内踊り保存会／岡山市

岡山市北区吉備津の宮内に伝わる盆踊りで、昭和34年に岡山県重要無形民俗文化財に指定されています。江戸時代の宝暦年間(1751～1763)の頃、吉備津神社の門前町として栄えた宮内に芝居興行に訪れた、花形歌舞伎役者「三桝大五郎」が振り付けて、この地の芸者衆に踊らせたのが始まりといわれています。衣装は浴衣で、踊りは歌舞伎の“六法”をくずして構成したといわれ、太鼓と音頭で単純な動作をゆるやかな速度で踊ることに大きな特徴があります。



たいこ おんど
 太鼓と音頭で単純な動作をゆるやかな速度で踊ることに大きな特徴があります。

たじこかもじんしゃ ぼうづか **多自枯鴨神社の棒遣い(建部祭り)**

たじこかもじんしゃぼうづか
多自枯鴨神社棒遣い保存会／岡山市

多自枯鴨神社の棒遣いは、1350有余年の歴史をもつ郷社多自枯鴨神社(岡山市北区建部町田地子)に伝わり、災難を打祓い、魍魅魍魎を退散させ、村に平和をもたらす神事で、昭和50年2月に保存会が設立されました。

棒遣いは、二人または四人一組で行い、鬼や天狗の面を冠り、胸には社紋を印し、襷がけに草鞋に古装束を装い、毎年10月開催の多自枯鴨神社の秋祭りおよび岡山県重要無形民俗文化財の七社八幡宮での「建部祭り」で奉納されます。

静寂の中、演者の鬼気と気合い、そして六尺棒の響きを体感してください。



よこぜんかぶき **横仙歌舞伎**

よこぜんかぶきほぞんかい かぶくんざ はやしだい
横仙歌舞伎保存会・歌舞鼓音座お囃子隊／奈義町

横仙歌舞伎は、地下芝居の伝統を守るため、昭和41年に有志で保存会を発足、昭和51年に岡山県重要無形民俗文化財に指定され、56年にわたる活動を続けています。新型コロナウイルス感染拡大の中でも活動を止めないためにYouTubeを使ってのかつての公演記録、無観客公演の動画配信など新しい試みにも取り組んでいます。

今回上演する「寿式三番叟」は、能に起源をもつ舞踊劇で、舞台の最初の幕に上演され、公演の安全と成功を祈願する縁起の良い一幕です。そろいの烏帽子に黒の衣装、鈴を持った姿は五穀豊穡のシンボルとしてのカラスを表現したものです。



おどり **バンバ踊**

おど ほぞんかい
バンバ踊り保存会／久米南町

バンバ踊は、干ばつ時に佛教寺境内の龍王池に雨乞い祈願をし、慈雨を得られると踊る感謝の踊りで、昭和31年に岡山県重要無形民俗文化財に指定されています。寛永13年(1636)の干ばつに際し、当時の第2代津山藩主、森長継公が雨乞い祈願を行い、慈雨を得られた時の感謝の姿が起源とされています。当初は仏教寺地区の男性のみが参加し、女装をして踊りを奉納していました。

本日は、公の場では約8年ぶりとなるバンバ踊を披露します。

